

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市地域福祉推進協議会
2 開催日時	令和2年2月27日(木) 14:00~16:00
3 開催場所	河内長野市役所3階 301会議室
4 会議の概要	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 会長・副会長の選出について</li><li>2. 第3次地域福祉計画・第2次地域福祉活動計画 平成30年度取り組み状況及び評価について</li><li>3. 第4次地域福祉計画・第3次地域福祉活動計画 策定に向けて</li><li>4. その他</li></ol>
5 公開・非公開の別	公開(途中入場は不可)
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	市民保健部 高齢福祉課 (内線 166)
8 その他	

# 令和元年度 河内長野市地域福祉推進協議会 会議録(要旨)

## ■日時・出席者等

日 時：令和2年2月27日(木)14:00～15:30

場 所：河内長野市役所3階 301会議室

出席者：委 員 久 隆浩 (近畿大学教授)  
船本 淑恵 (大阪大谷大学教授)  
青木 淳英 (大阪千代田短期大学教授)  
吉村 禎二 (河内長野市社会福祉協議会会長)  
辻野 晶子 (河内長野市民生委員児童委員協議会会長)  
玉崎 和実 (河内長野市地区(校区)福祉委員会委員長連絡会会長)  
西村 道夫 (NPO法人はぴえる理事長)  
御前 敏一 (河内長野市身体障害者福社会会長)  
山田 昭儀 (河内長野市老人クラブ連合会会長)  
外山 佳子 (河内長野市医師会副会長)  
山本 淑子 (河内長野市地域女性団体協議会会長)  
吉田 妙子 (河内長野市人権協会副会長)  
溝端 秀幸 (河内長野・大阪狭山地区保護司会河内長野支部)  
事務局 東部 昌也 (河内長野市市民保健部長)  
亀井 則彦 (河内長野市福祉部長)  
中橋 栄一 (河内長野市市民保健部高齢福祉課長)  
山内 康弘 (河内長野市市民保健部高齢福祉課課長補佐)  
南 加奈子 (河内長野市市民保健部高齢福祉課地域福祉係長)  
浦田 尚代 (河内長野市市民保健部高齢福祉課主査)  
土橋 崇之 (河内長野市社会福祉協議会地域福祉課長)  
松下 剛士 (河内長野市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係長)

## ■会議録(要旨)

開 会 (司会：高齢福祉課長)

- ・出席数確認 (13) → 過半数以上で会議成立
- ・東部市民保健部長あいさつ
- ・委員紹介

## 案 件

### 1. 会長・副会長の選出について

(会長・副会長未選出のため、案件1の会長、副会長の選出までは司会が進行し、それ以降は久会長が進行。)

・会長、副会長の選出について互選である旨説明。立候補・推薦がなく、事務局一任の声があったため、会長に久氏を、副会長に船本氏、青木氏をと提案し、全会一致で承認された。

### 2. 第3次地域福祉計画・第2次地域福祉活動計画平成30年度の実施状況及び評価について

<資料1参照>

会 長	事務局より説明を。
事務局	資料1に基づき説明
会 長	それでは、評価(案)についてご意見をいただきたい。
委 員	「多様な情報提供と相談窓口の充実」の項目で、色々な分野の相談事業の記載があるが、医師会では医療・介護の相談に乗っているのが掲載してもらいたい。
事務局	今回ご確認いただいている資料は、平成30年度の事業であるので、令和元年度の評価の際に掲載したいと考えている。
会 長	現在すでに医療・介護の相談事業も実施しているということであれば、総合評価の欄でうまく表現できれば。
委 員	認知症施策については、河内長野はがんばっていると感じている。着実に認知症サポーターが増えている。職員全員がサポーターになるなど積極的に取り組まれている。認知症対策を強化するための大綱を政府が発表していた中で、認知症の人が暮らしやすい社会と認知症予防が書かれていたが、このあたりを今まで以上に進めてもらえたらありがたいと思う。
委 員	社会福祉法人と地域の連携の記載があったが、民間企業との連携も考えられるのではないかと。民間との連携事例があれば教えてほしい。
事務局	現在、官民連携事業を進めている。あやたホールと錦溪苑のネーミングライツを取ったキタバ薬局と包括連携協定を結び、介護予防事業や地域との移動支援を進めていこうとしている。キタバ薬局に限らず、色々な民間との連携を進めていきたいと考えている。
委 員	おでかけチケットについて、高齢者の外出機会を増やし、健康増進・介護予防に効果があるとされている。高齢者が増加している中でこういう取り組みがあるのは心強く思う。今後運転免許証の返納を促進し、返納後も安心して外出するため、おでかけチケットは効果があると考えている。
委 員	障がい者を対象とした移動支援について、大阪府でガイドヘルパーの利用範囲を広げようとしていると聞いている。現在は通学と就労に関して使えないが、府では見直しをしているかどうかについて聞きたい。
事務局	大阪府では重度障害者を対象に検討されている。令和2年度から政令指定都市から取り組んでいく方向であると聞いている。現時点では、市町村は参加しないが、政令指定都市で出された問題点を踏まえて、令和3年度には市町村もという方向性になっている。国でも違う動きが出ているので、そこも勘案しながら取り組んでいくこととなる。

会 長	各情報の周知について、徹底しても届かないところ、限界がある。CSWが中心になってきめ細かに情報を届けるなどをしてもらいたい。 居場所などの地域資源マップについても、紙媒体であれば更新が難しいが、ホームページ等を活用して掲載いただければいつでも最新の情報に更新できる。また、なかなかインターネットが使えない人に対しては、CSWや周囲の人などが必要な人にうまく届けるなど対応してもらえたら。
	<p>&lt;総合評価について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定成果も出てきているので、そのあたりは評価できる。一方で積み残した課題もあるため、解決に向けて、また地域福祉のさらなる推進に向けてがんばってもらいたい。</li> <li>・令和元年度から医療・介護の相談が始まっているので、さらなる充実を。</li> <li>・移動支援には介護予防や健康づくりにも効果がある。複数の視点から評価・充実していく事も必要。</li> <li>・地域福祉は様々な主体との協働が不可欠な分野である。市と民間、様々な主体がうまく連携して進めてもらいたい。</li> <li>・情報を届ける時にCSWなどつなげる人が活躍する仕組みがあれば。</li> </ul>

### 3. 第4次地域福祉計画・第3次地域福祉活動計画策定に向けて

<資料2>参照

会 長	事務局より説明を。
事務局	資料2に基づき説明
会 長	それでは、骨子等についてご意見をいただきたい。
委 員	<p>地域ワークショップの参加者所属を見ていると企業が入っていないように思う。今後のことを考えると民間・企業との連携が欠かせないと思うが、2025年度問題を考えても緊張感が感じられない。介護事業者としても入っていない、ケアマネージャーがからんでいない、地域福祉を支えるベースがどこにあるか見えてこない。もう少しダイナミックに何ができるかを検討していただきたい。</p> <p>インターネット、スマホを教えてほしいという高齢者の需要が高くなってきている。そういう企業を巻き込んでいくなど考えられないか。災害時の情報発信もインターネットが中心になっているので、高齢者は情報を受け取れず、どこで避難所開設されているかすら知らない人がいる。ドコモやauなどの企業と連携しながら、通信ネットの構築をするなどはどうか。これからの地域福祉には情報伝達も重要である。</p> <p>いままでの繰り返しでなく、本気度を見せてほしい。</p>
会 長	<p>全市的なサービス提供のための連携と地域の中の連携をうまく整理して書き加えてもらえたら。地域でも民間との連携を考えている住民がいる。宝塚市になるが、まちづくり協議会の会長さんが区域内の企業に協議会のメンバーとして入ってもらえるよう精力的に声をかけている事例もある。河内長野でも地域の住民が企業とどのように連携できるかを考えてもらえると良いのでは。</p> <p>ニューヨークでは、パソコンを持っているかどうかや生活困窮かどうかの一つの指標になる。持っていない場合は生活に困るだろうと市からの無償貸与になる。</p>

	<p>また図書館でもwifiルーターを無償貸与している。情報基盤を整えるということも福祉としても必要になってくるのではと思う。市の取り組みとして、また社協の取り組みとしてどんな事ができるのか一緒に考えていければ。</p>
委員	<p>人権協会も人権教育していただこうと動いている。障がい、高齢、虐待はたくさん取り上げているが、部落差別の問題は控えているような印象。そのあたりも今後取り上げていただければと思う。</p>
委員	<p>市民アンケートで、地域の活動の参加状況を聞いた項目で、お祭りに参加すると答えた人がすごく多い。地域のお祭りも地域の交流の場であると思うので、このあたりから地域活動につなげていけないかと考える。企業を社会資源の一つとして考えるのであれば、神社やお寺での催しもその一つとして捉えてはどうか。また、コンビニも色々な人が集まる拠点になると思うので、どこまで協力してもらえるかはわからないが、そういうところも取り入れてはどうかと考える。</p>
事務局	<p>PR不足ではあるが、少しずつ企業との連携も進めている。コンビニとの連携も既に進めていて、徘徊SOSや見守りで連携をしている、また、河内長野ガスとも連携について話を進めている。なかなか発信できていないが、現状で満足しているのではなく、今後もっと進めていきたいと考えている。</p> <p>また、認知症対策について、市民全員を認知症サポーターにすることを目標にしている。まずは、身内からということで、職員と議員は全員サポーターになっている。また小学校や中学校でも講座を実施してサポーターの輪を広げていっている。</p>
会長	<p>ヨーロッパやアメリカでは教会が地域貢献を積極的にしている。日本では政教分離の考え方がある中で、行政計画のなかでどこまで踏み込むかは難しいところではあるが、地域の中にあるお寺・神社も地域貢献も考えているところもあり、うまく連携できれば。</p> <p>また、信者さんが使える集会施設を地域の方の居場所づくりにというところも出てきている。神社の参集殿を地域の方に使ってもらえるようにしている。神社、お寺のスペースも社会資源ととらえ、連携していければ。</p>
委員	<p>青年団を集めて認知症の啓発をしてはどうか。青年団の力は大きいし、行動力もあるのでうまくつながれば効果は大きいと思う。</p>
委員	<p>南花台ではコノミヤが地域に密着した形で、非常に貢献いただいている。もっとほかの地域にも広がっていけば。</p> <p>また、災害時に社会福祉施設連絡会で地域に協力できないかという事で、話を進めているところである。</p> <p>三日市の青年団には祭りの前には必ず献血に参加いただいている。また、災害時のボランティアにも青年団に参加いただいた。</p> <p>少しずつであるが、色々な形で進んでいる。</p>
会長	<p>せっかくある好事例をもっとみんなで共有できるような仕掛けが必要であると感じた。</p> <p>たとえば、好事例集を作るとか、計画の中にコラムのような形で掲載するなども考えられるのでは。</p>

委員	地域ワークショップで出された意見は出しっぱなしになるのか？まとめは返してもらえないのか。
事務局	報告会での報告のほかに、福祉委員会中心にはなるが、フィードバックし地域福祉の目標策定を進めていきたいと考えている。
会長	アンケートの内容で、自治会に加入しない理由として「自治会がない」が一番多い。まちづくり協議会は、自治会に加入していなくても参加できるので、まちづくり協議会の役割が重要と考える。河内長野では、地域の中に自治会、福祉委員会、まちづくり協議会の3つの組織が活躍されている。その中でもまちづくり協議会の役割というのが大きいと思うので、計画の中でもそのあたりを書き込んでいければ。

・事務局から事務連絡（会議録の公表のお知らせと文面校正のお願い等。）

**閉 会**

(終)